



ランピースキン病が発生！！(国内初)

令和6年11月6日、福岡県の乳用牛飼養農場において、国内では初めてとなるランピースキン病の発生が確認されました。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。



疑わしい場合は
直ちに連絡！



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

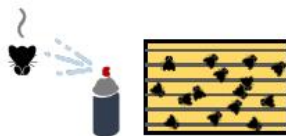
01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、粘着シート等も活用。



主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。

03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

まん延防止のために

- 牛を定期的に観察し、本病を疑う場合は速やかに隔離して獣医師又は家保に連絡
- 他の畜産施設で使用した器具は原則として農場内に持ち込まない
- 血液を介しての感染防止のため、注射針、人工授精用器具その他体液(生乳を除く。)が付着する物品の1頭ごとの交換および消毒

千葉県中央家畜保健衛生所 TEL 043-250-4141 FAX 043-286-0090

※急性悪性家畜伝染病(口蹄疫等)の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。
※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。